

---

# ECサイト中級

動的Webプロジェクトの作成

---

## 1 時間目

## ECサイト中級

前回作成したECサイト初級では、商品情報や履歴情報を 1 件だけ表示してました。

ECサイト中級では複数の情報を扱った表示機能やログイン済確認機能を新たに追加してます。

ECサイト中級にて、コレクション型の扱い方を学んでいきましょう。

# 作業目次

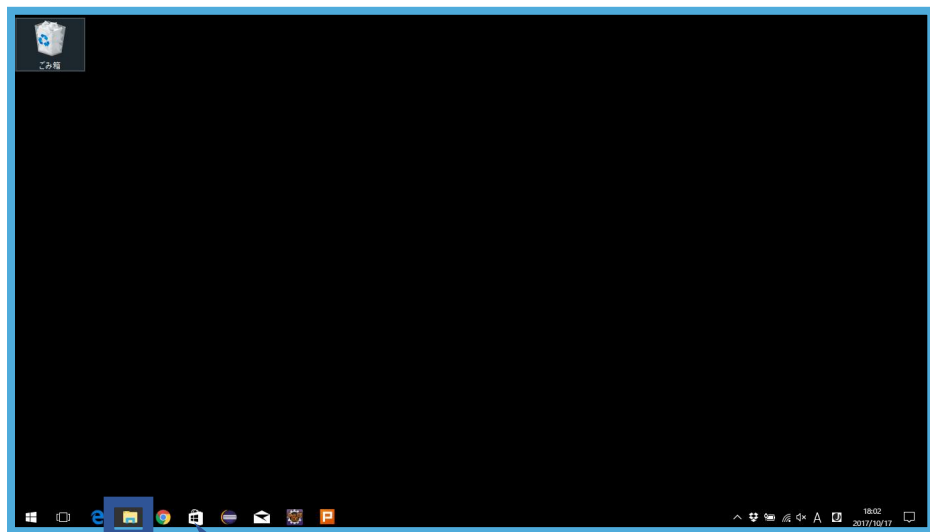
作成機能一覧

以下の機能を作成

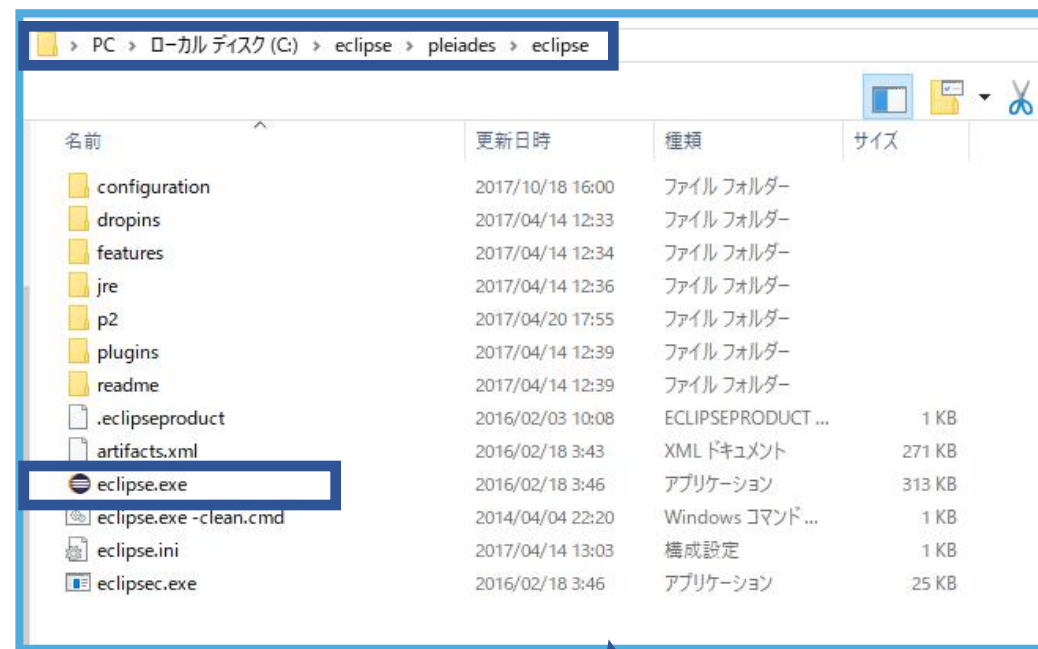
1. ログイン認証機能
2. ユーザー登録機能
3. 商品購入機能
4. 購入履歴機能

# Eclipseを起動

## 1 Eclipseを起動



① ホーム画面の「エクスプローラー」アイコンをクリックします。



② 「pleiades.zip」の解凍方法により「C」以降のパスが異なる可能性があります。

③ 「C」 「eclipse」 「pleiades」 「eclipse」へ移動します。  
ディレクトリの中にある「eclipse.exe」をダブルクリックします。

# Eclipseを起動

④ ③と異なるパスパターン時の実行です。



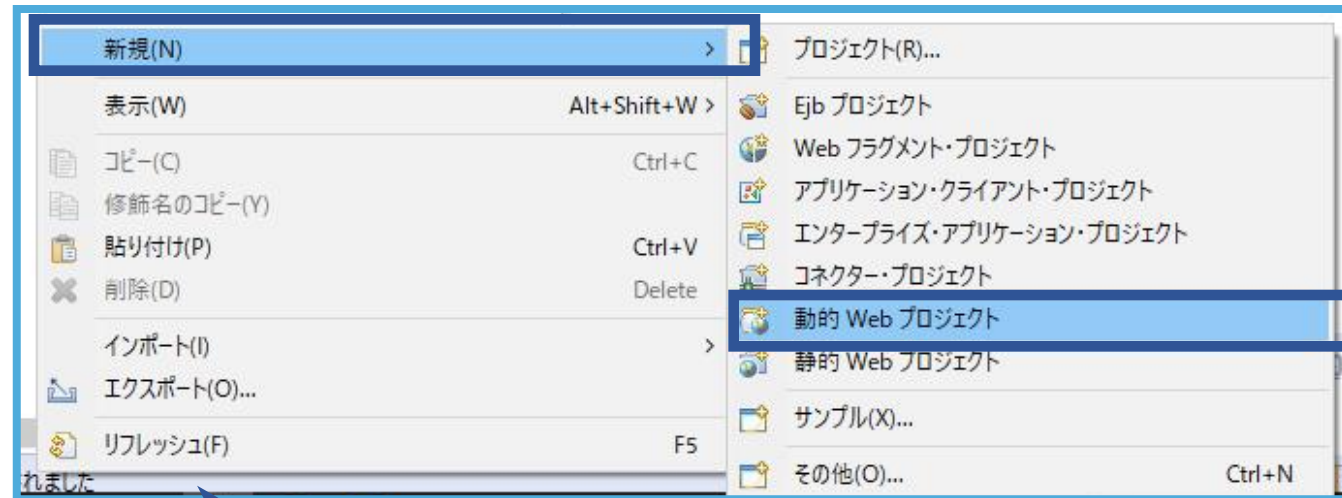
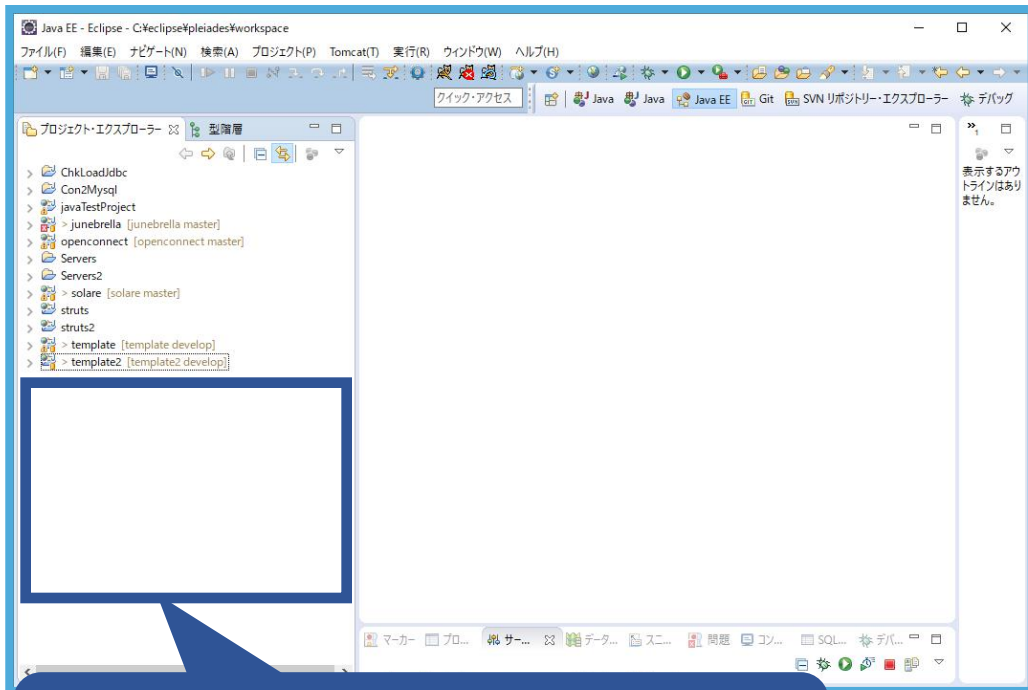
⑤ 「C」 「pleiades」 「eclipse」 へ移動します。  
ディレクトリの中にある「eclipse.exe」をダブルクリックします。



⑥ 「eclipse.exe」をクリックした後  
どちらのパターンも上記の画面が表示  
されれば、起動成功です。

# 動的WEBプロジェクトの作成

## 2 動的Webプロジェクト



# 動的WEBプロジェクトの作成

新規動的 Web プロジェクト

動的 Web プロジェクト

プロジェクト名(M): ecsite

プロジェクトのロケーション

☒ デフォルト・ロケーションを使用(D)

ロケーション(L): C:\pleiades\workspace\ecsite 参照(S)...

ターゲット・ランタイム(U)

Tomcat6 (Java6) ▼ 新規ランタイム(R)...

動的 web モジュール バージョン(V)

2.5 ▼

構成(C)

Tomcat6 (Java6) デフォルト構成 ▼ 変更(I)...

Tomcat6 (Java6) ランタイムを操作するための良い出発点です。後で新しい機能をプロジェクトに追加するために追加ファセットをインストールすることができます。

EAR メンバシップ

☐ EAR にプロジェクトを追加(A)

EAR プロジェクト名(E): EAR ▼ 新規プロジェクト(P)...

完了(F) キャンセル

① 「プロジェクト名(M):」の欄に「ecsite」を入力して、完了ボタンをクリックします。

新規動的 Web プロジェクト

Web モジュール

Web モジュール設定を構成します。

コンテキスト・ルート(R): ecsite

コンテンツ・ディレクトリー(D): WebContent

☒ web.xml デプロイメント記述子の生成(G)

完了(F) キャンセル

② 「Web.xmlデプロイメント記述子生成(G)」にチェックを入れ、完了ボタンをクリックします。

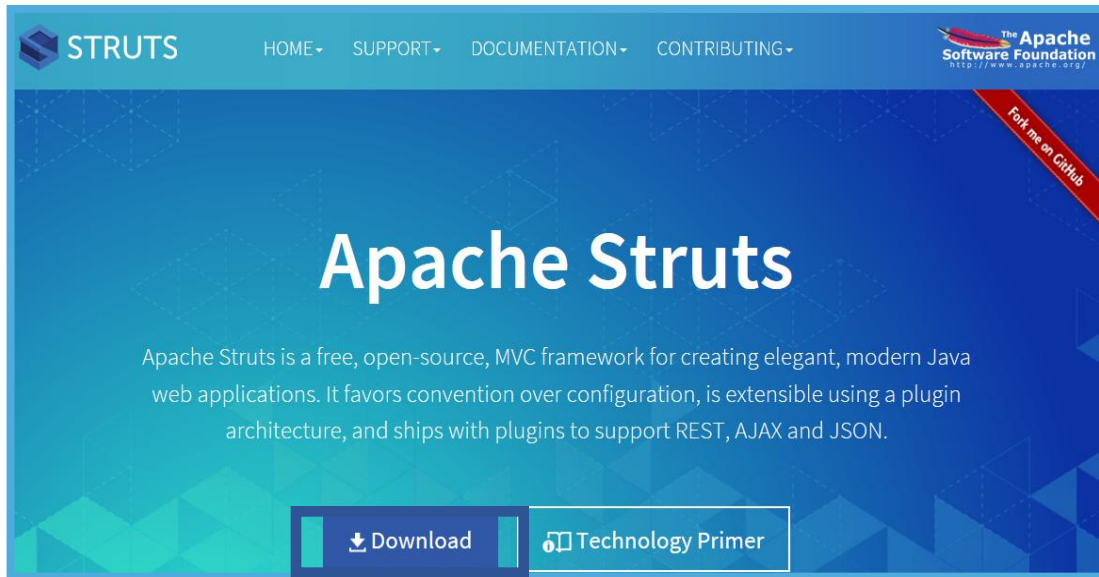


③ 「プロジェクト・エクスプローラー」に「ecsite」プロジェクトが作られていれば成功です。



# Struts2フレームワークを配備

## 3 Struts2フレームワークを配備



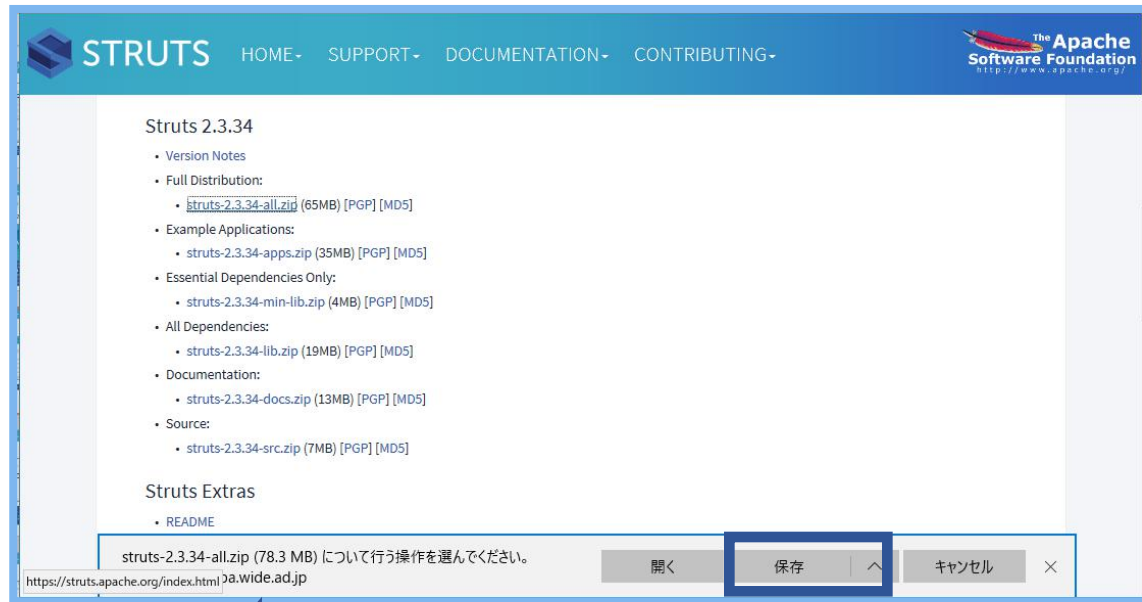
① 「<http://struts.apache.org/>」にアクセスし、「Download」ボタンをクリックします。



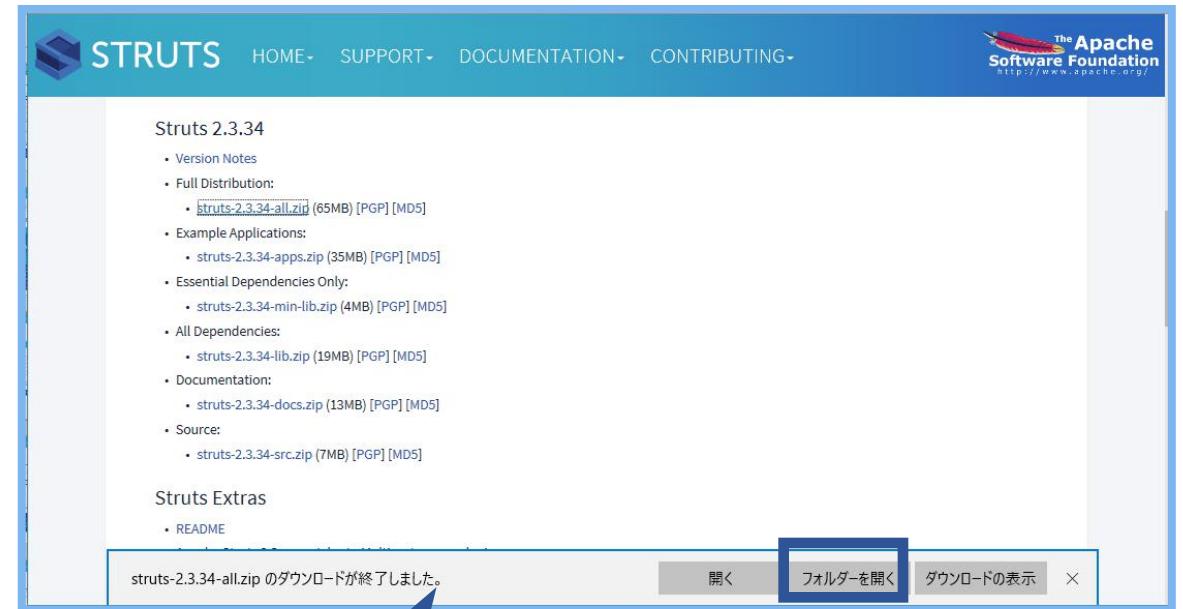
② 「struts-x.x.xx-all.zip」をダウンロードします。  
無事に完了したら必要なjarファイルが揃います。  
※Strutsのバージョンは2.3.xx系を利用してください  
他のバージョンでは互換性がありません。その為、ここでは2.3.xxを選択してゆきます。



# Struts2フレームワークを配備

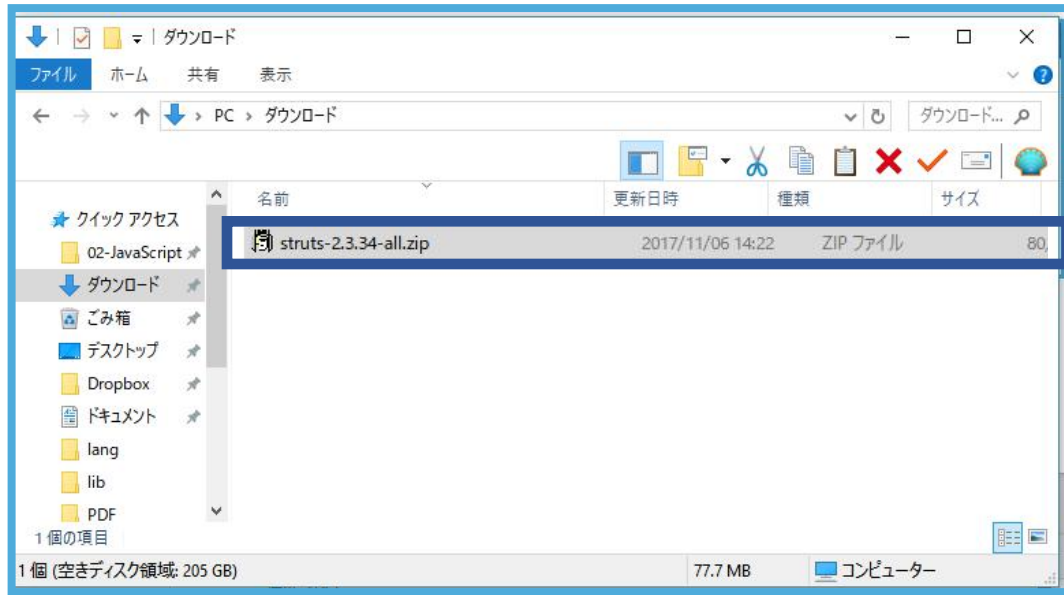


③ 「保存」をクリックしてください。

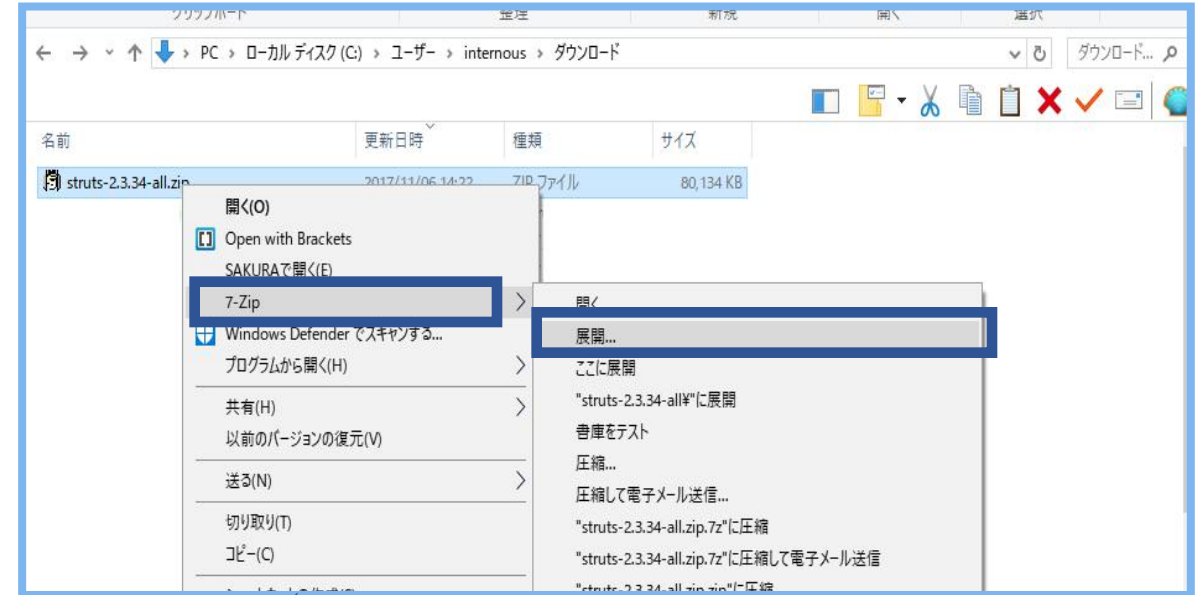


④ ダウンロードが完了後「フォルダを開く」ボタンをクリックします。

# Struts2フレームワークを配備

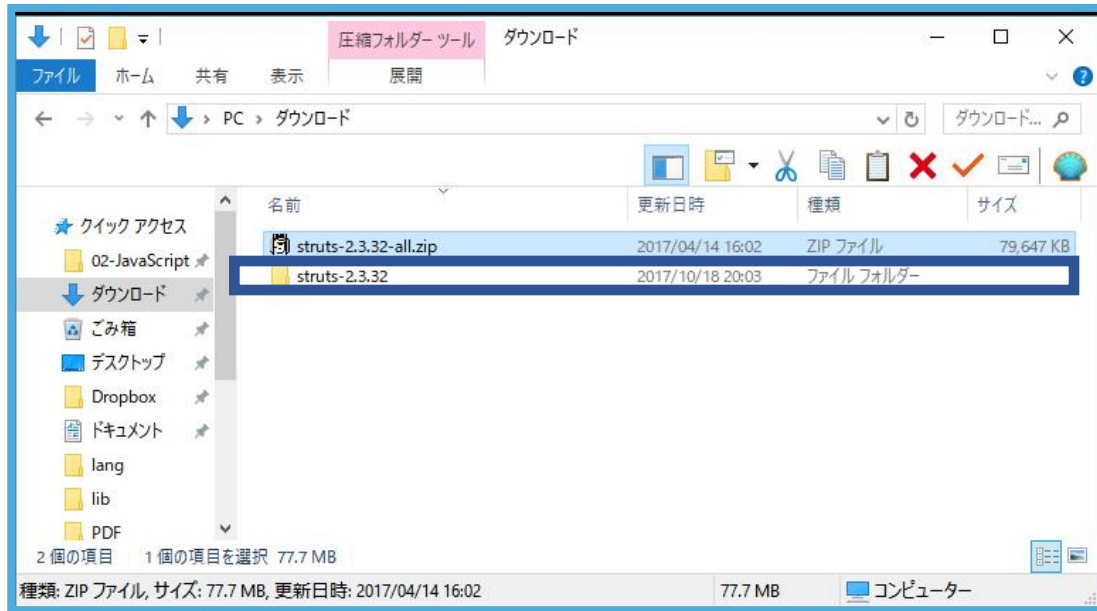


⑤ ダウンロードファイルが格納されている「ディレクトリ」が開きます。対象のディレクトリの中に「struts-x.x.xx-all.zip」を探します。

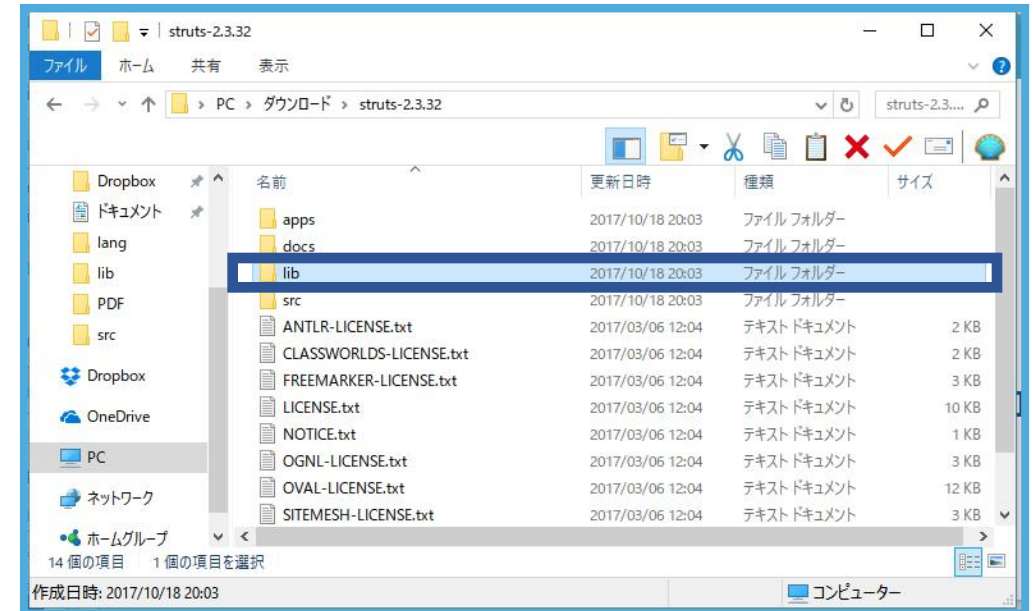


⑥ 「struts-x.x.xx-all.zip」を右クリックし、「解凍」または「展開」します。

# Struts2フレームワークを配備

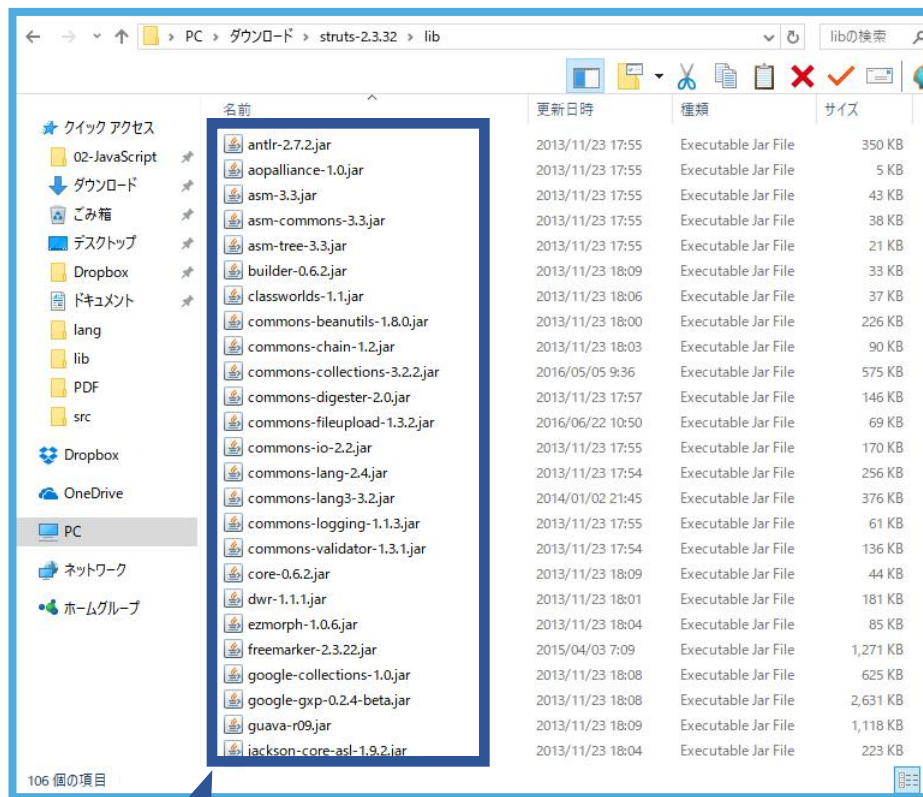


⑦ 解凍が終わると「struts-x.x.xx」という名前のディレクトリが増えます。「struts-x.x.xx」をダブルクリックします。



⑧ 「struts-x.x.xx」ディレクトリの中に「lib」ディレクトリがあります。次に「lib」ディレクトリをダブルクリックします。

# Struts2フレームワークを配備

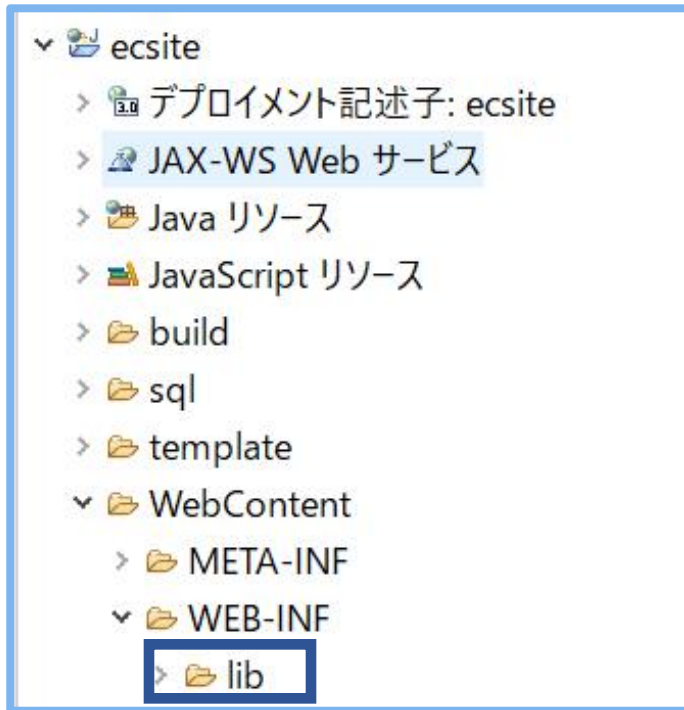


⑨ 「lib」ディレクトリの中には多くの「jar」拡張子ファイルが存在します。「strutsフレームワーク」に必要なファイルだけを取得します。

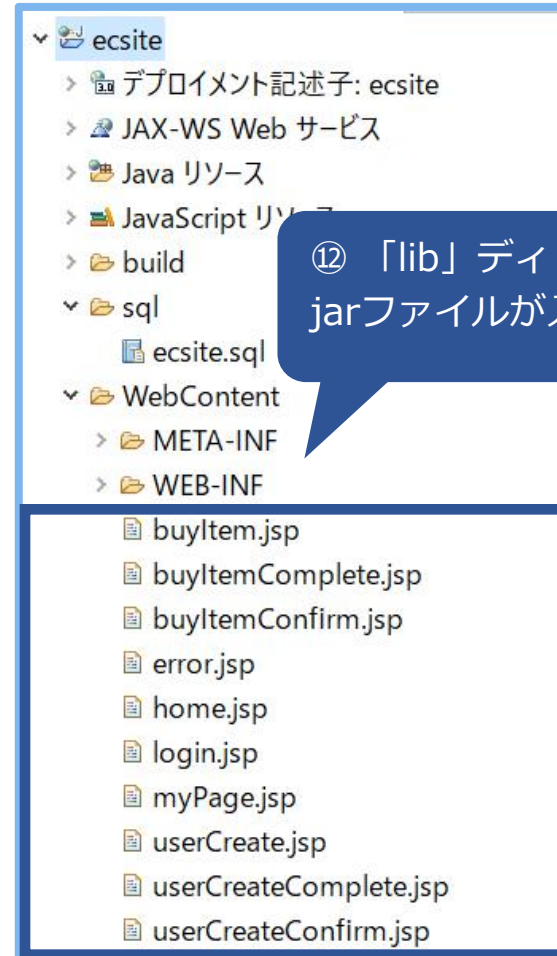
commons-fileupload-1.3.2.jar	2017/04/14 16:13	Executable Jar File	69 KB
commons-io-2.2.jar	2017/04/14 16:13	Executable Jar File	170 KB
commons-lang3-3.2.jar	2017/04/14 16:13	Executable Jar File	376 KB
commons-logging-1.1.3.jar	2017/04/14 16:13	Executable Jar File	61 KB
freemarker-2.3.22.jar	2017/04/14 16:13	Executable Jar File	1,271 KB
javassist-3.11.0.GA.jar	2017/04/14 16:13	Executable Jar File	600 KB
ognl-3.0.19.jar	2017/04/14 16:13	Executable Jar File	226 KB
struts2-core-2.3.32.jar	2017/04/14 16:13	Executable Jar File	854 KB
xwork-core-2.3.32.jar	2017/04/14 16:13	Executable Jar File	663 KB

⑩ 上記の9つのjarファイルを探します。

# Struts2フレームワークを配備



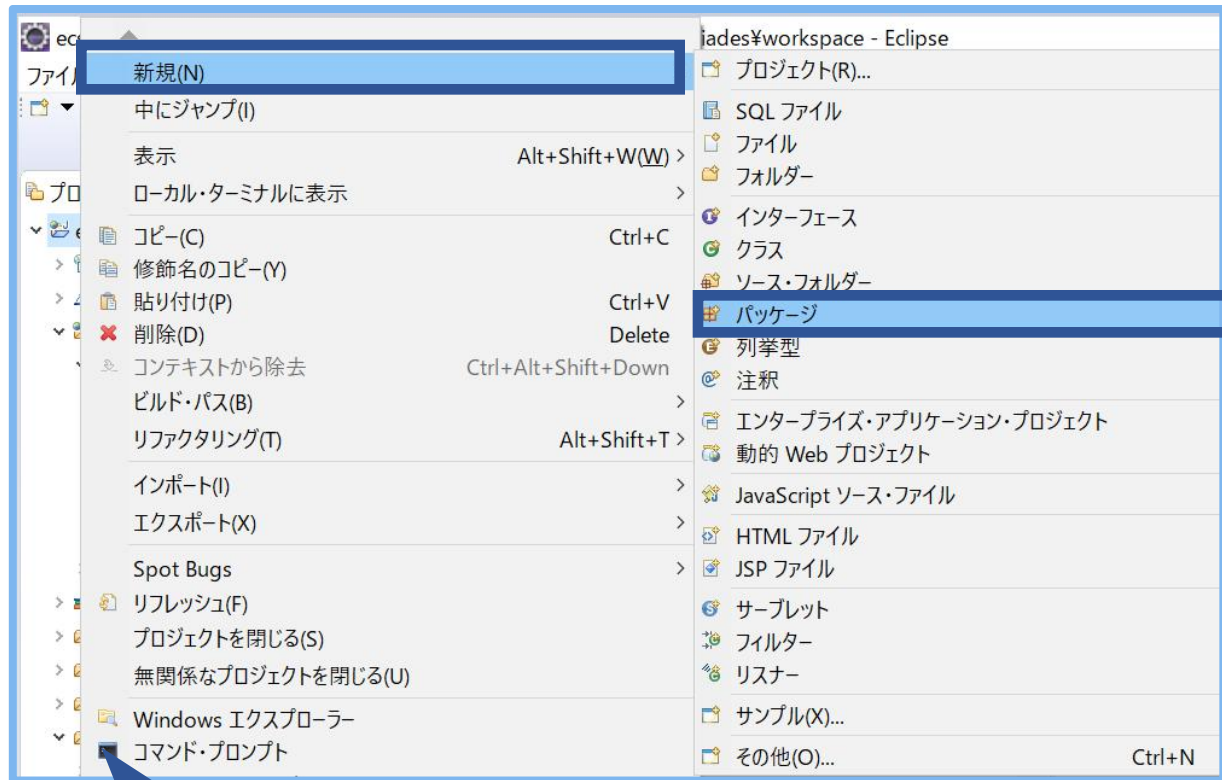
⑪ 探したjarファイルを「プロジェクト」  
「WebContent」「WEB-INF」「lib」デ  
ィレクトの中复制到します。



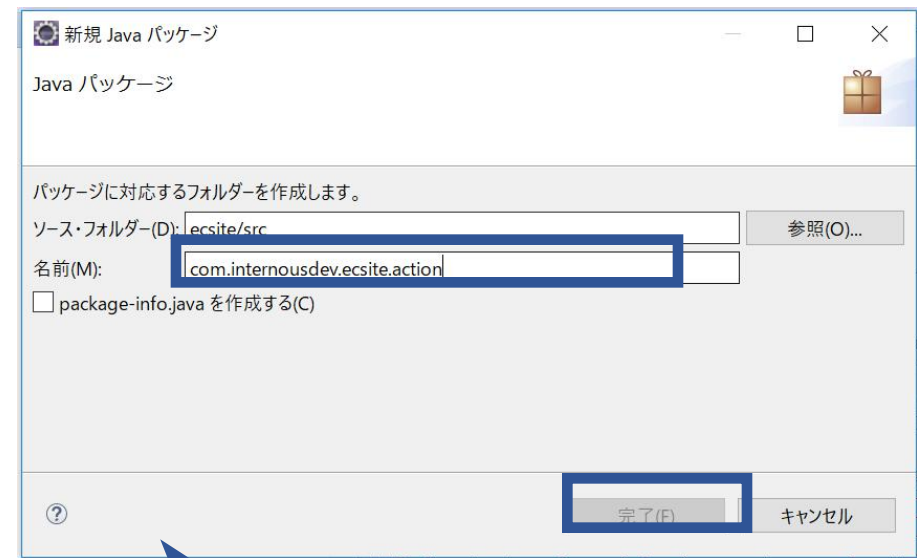
⑫ 「lib」ディレクトリの中にコピーした  
jarファイルが入れば成功です。



# プロジェクト内にpackageの作成

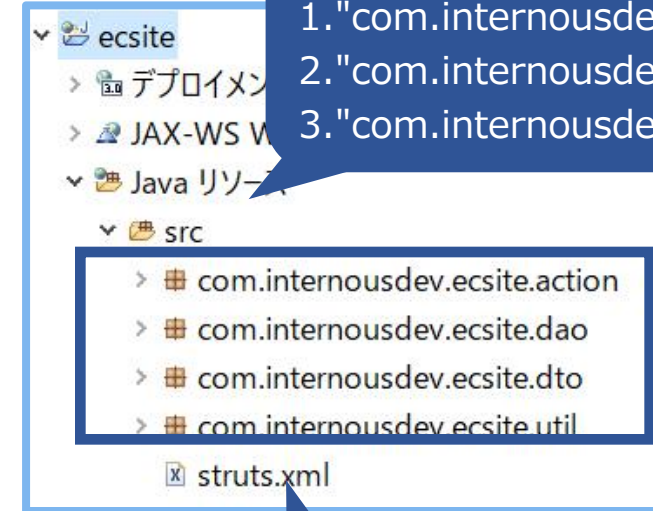
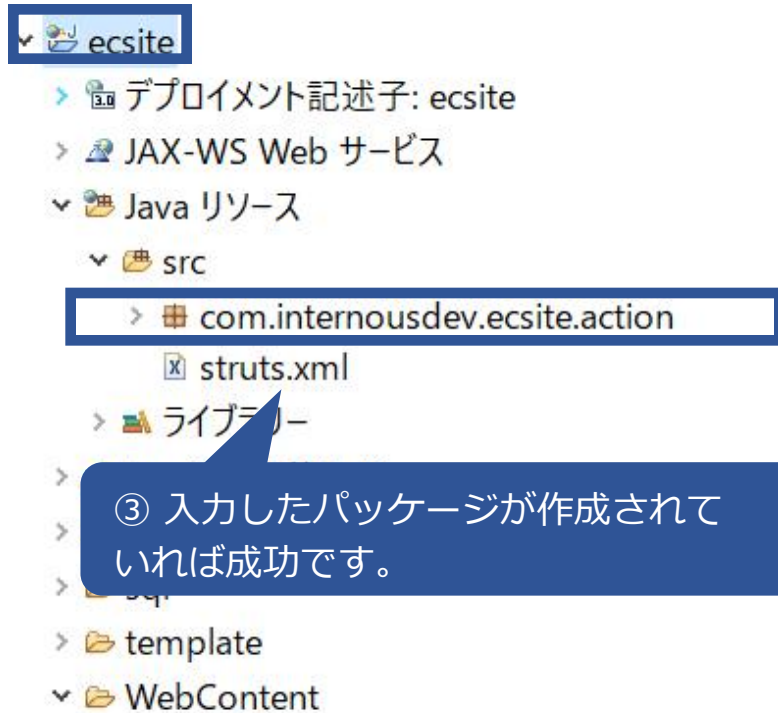


① 「プロジェクト」を右クリック、  
「新規」「パッケージ」を選択します。



② 「名前(M):」の欄にパッケージ名を入力します。  
今回は「com.internousdev.ecsite.action」と  
入力して完了をクリックします。

# プロジェクト内にpackageの作成



⑤ 全部で4つpackageを作成すれば完了です。